

令和3年度 学校評価表(自己評価・改善の方策)

一迫商業高等学校

教育目標	1. 協調と奉仕の精神をもって誠実に責任を果たす態度を養う。 2. 自主的な精神に富み、不屈の意志と逞しい実践力をもつ健全な心身を育てる。 3. 科学的な知識とすぐれた技能を習得し、勤労を重んじ、進んで創意工夫に努める態度を養う。 4. 郷土に対する認識を深め文化遺産を愛護し、豊かな情操と高い道徳心を培う。
------	---

重点目標	1. 基礎学力の定着と学力向上 2. 規律ある生活習慣の確立 3. 授業の工夫・改善と指導技術の向上 4. 部活動や学校行事等の充実 5. 進路実現に向けたキャリア教育の推進 6. 地域への貢献と地域企業との連携
------	---

◇ 自己評価(達成状況)は、次の基準による。
 A:達成している B:おおよそ達成している C:あまり達成していない D:達成していない
 ☆ 学校関係者評価は、次の基準による。
 A:適切である B:おおよそ適切である C:あまり適切でない D:適切でない

	努力目標		◇ 自己 評価	評価すべき点/改善の方策等	☆学校関係者評価			
	具体的な取り組み				自己評価 の適切さ	改善策 の適切さ		
総務部	1	生徒が「充実した学校生活」を実感できるように、各部・各学年との連携をもとに校務運営の円滑化を図る。	A	○緊急事態宣言やまん延防止等重点措置で中止や内容の変更を余儀なくされた行事・式典があったが、各部分掌と連携をとりながら何とか準備や運営を進めることができた。 ○芸術鑑賞は「音楽」→「古典芸能」→「演劇」の順で講演依頼をしているが、同じ演者に3年に1回講演をしてもらうことで、新規開拓する教員の負担を減らす。 ○PTA活動を「一商生をいっしょに育てよう」というボランティア活動でイメージ戦略し、入学者説明会、PTA入会式、PTA総会等でPRしていく。 ①総会②外部講師面接③文化祭④ロードレース大会の中から最低1つの参加を推奨していく。	1	A	A	
		各部・各学年の要望を取り入れ、学校運営方針に沿って全体の調整を図る。各式典・行事の終了後、アンケート調査を取るなどして、次年度に向けての改善を図る。	A			A	A	
	2	PTA・教育振興会・同窓会との連携を通して、保護者に本校の教育方針や指導目標を理解・共感してもらえるよう働き掛ける。	A		○PTA活動を「一商生をいっしょに育てよう」というボランティア活動でイメージ戦略し、入学者説明会、PTA入会式、PTA総会等でPRしていく。 ①総会②外部講師面接③文化祭④ロードレース大会の中から最低1つの参加を推奨していく。	2	A	A
		PTA・教育振興会・同窓会と連携を図りながら、保護者や地域に本校の教育方針や指導目標を分かりやすく伝える。また、いただいた意見や助言に対して耳を傾け、本校の教育活動の参考にてできるよう努める。	A				A	A
	3	図書館活動を通して、読書の質を高め更に読書が習慣化できるよう努める。また、感情を込めて読み聞かせをすることで情操教育の充実を図る。	A		○コロナ感染防止のため図書視聴覚委員会の読み聞かせ活動を中止し、代替としてビブリオバトルを企画した。クラスや学年の支援もあって、石楠花祭のステージ発表まで内容を昇華することができた。	3	A	A
		生徒とコミュニケーションをとり、個に応じた選書を行いまた推薦し、読書に興味を持つよう働きかける。また、委員会活動の一環として生徒同士で読み聞かせをし合い、興味を持つよう働きかける。	A				A	A
	4	担任や教科担当等と連絡を密にし、生徒にとって適切な資料の提供が行えるように努める。	A		○国語科の協力の下、授業における図書館の活用、文化祭での「心からの手紙コンテスト」の展示など図書館に親しみを持ってもらえる活動ができた。	4	A	A
		授業での図書館利用を呼びかけ、教科と連携しながら資料提供や展示を行い、言語力・語彙力を高める教育活動への支援を行う。	A				A	A
	5	創立50周年記念への堅実で着実な準備を行う。	B		○次年度に向けて対応できるように、近隣校の周年行事を視察し準備を計画的に進める。今年度と過去の準備運営が混在しないよう資料を整理する。	5	A	A
		令和5年度の本番に向けて、資料作成および他校の周年記念式典を視察し参考にしていく。	A				A	A

◇ 自己評価(達成状況)は、次の基準による。

A:達成している B:おおよそ達成している C:あまり達成していない D:達成していない

☆ 学校関係者評価は、次の基準による。

A:適切である B:おおよそ適切である C:あまり適切でない D:適切でない

	努力目標		評価すべき点/改善の方策等	☆学校関係者評価				
	具体的な取り組み			自己評価の適切さ	改善策の適切さ			
教務部	1	全ての生徒に「わかる」授業を行います。	A	<p>○公開授業から授業評価までの仕組みを作り、生徒からの評価を全職員にフィードバックした。</p> <p>○「わかる授業」を目指せる仕組みづくりを推進する。生徒自身が「分かる」「できる」「やろう」と意識して学びに向かうような仕組み、教師自身が生徒に「分かる」授業を提供し、「できる」という自信を身に付けさせ、「やろう」という生徒の心に火をつけられるような仕組みを作る。</p> <p>○学力向上委員会からの協力の下、基礎力診断テストをきっかけにした生徒と教師の振り返り、次の目標設定、授業改善とKGタイムの活用というPDCAサイクルを円滑に回すことができた。</p> <p>○キャリア・パスポートの記載欄を学習面、行事、委員会、部活動等に細分化し、調査書に生かせる仕様とした。</p> <p>○教育課程委員会からの協力の下、校内研修や実際に想定した観点別学習状況評価のシュミレーションを実施できた。令和4年度入学生から実施する学習評価規程の改訂も円滑に進めることができた。</p> <p>○職員会議等がペーパーレス化され、それに関する作業時間が著しく減少した。生徒への課題の指示や連絡等もGoogleクラスルームを活用することで業務が改善された。オンライン学校を推進したことで非常時の授業対応力や教師・生徒のICT活用能力が向上した。</p> <p>○ホームページ更新の頻度が飛躍的に上がり(昨年度の2倍)、閲覧件数も80万件に達しようとしている。</p> <p>○働きやすい環境を教務部が率先して創っていく。生徒に接する時間を増やすために、業務を見直し、スクラップアンドビルド、ICTへの置き換え等を積極的に進めていく。</p>	1	A A A A A	A A A A	
		「全ての生徒がわかる授業」を目指し、全ての教職員がテーマを決め、工夫して授業を行う。お互いの授業を参観するなど、教職員の学び合いを通して、自身の授業力向上と授業改善に努める。「わかる授業」とは何かを生徒からもアンケートを取り分析することで、本校生徒に適した考え方は教え方は何かを研究する。	A					
	2	全ての生徒に「できた」と実感させます。	A		<p>○学力向上委員会からの協力の下、基礎力診断テストをきっかけにした生徒と教師の振り返り、次の目標設定、授業改善とKGタイムの活用というPDCAサイクルを円滑に回すことができた。</p>	2	A A A A A	A A A A
		「基礎力診断テスト」等の結果を活用・分析し、生徒の学力を向上させる手法を「学力向上委員会」で探る。教科担当者と学年団が連携することで、生徒の基礎学力を向上させ、生徒に「できた」を実感させる。	B					
	3	全ての生徒の「やろう(やる気)」を高めます。	A		<p>○キャリア・パスポートの記載欄を学習面、行事、委員会、部活動等に細分化し、調査書に生かせる仕様とした。</p>	3	A A A A A	A A A A
		生徒が勉強を「やろう」と思えるように、「キャリア・パスポート」「学びのPDCAワークシート」「一商進路マップ」などを活用し、生徒自身に目標を立てさせ、将来の進路達成までを意識させる。目標を達成できているかどうかを生徒自身に振り返らせることで、成長過程を実感させる。「基礎力診断テスト」等の結果も踏まえ、進路指導部や学年と連携しながら、大学進学など生徒の進路選択に幅を持たせる。	B					
	4	今年度内に令和4年度実施の観点別学習状況評価(指導要録記載)方法について研究し、本校にあった形に体系化します。	A		<p>○教育課程委員会からの協力の下、校内研修や実際に想定した観点別学習状況評価のシュミレーションを実施できた。令和4年度入学生から実施する学習評価規程の改訂も円滑に進めることができた。</p>	4	A A A A A	A A A A
		考査毎に「教育課程委員会」を開催し、実際に仮の評価を付けるなどのシュミレーションを重ねながら協議を重ね、観点別学習状況評価方法を体系化していく。それと併せて学習評価規程も見直していく。	A					
	5	仕事の情報推進化(仕事のデータ化、オンライン化、ICTを活用した効率化)に努めます。	A		<p>○職員会議等がペーパーレス化され、それに関する作業時間が著しく減少した。生徒への課題の指示や連絡等もGoogleクラスルームを活用することで業務が改善された。オンライン学校を推進したことで非常時の授業対応力や教師・生徒のICT活用能力が向上した。</p> <p>○ホームページ更新の頻度が飛躍的に上がり(昨年度の2倍)、閲覧件数も80万件に達しようとしている。</p> <p>○働きやすい環境を教務部が率先して創っていく。生徒に接する時間を増やすために、業務を見直し、スクラップアンドビルド、ICTへの置き換え等を積極的に進めていく。</p>	5	A A A A A	A A A A
		まずは「やるべき」仕事をやり、「やめるべき」仕事をやめる。「無くても困らない」仕事については極力減らしていく。情報化推進委員会を中心として、情報化を進め、効果的な働き方を研究、推進していく。	A					

◇ 自己評価(達成状況)は、次の基準による。

A:達成している B:おおよそ達成している C:あまり達成していない D:達成していない

☆ 学校関係者評価は、次の基準による。

A:適切である B:おおよそ適切である C:あまり適切でない D:適切でない

	努力目標	◇ 自己 評価	評価すべき点/改善の方策等	☆学校関係者評価		
	具体的な取り組み			自己評価 の適切さ	改善策 の適切さ	
生徒指導部	生徒指導の徹底	A	○今年度の特別指導は、学用品寸借と無届バイク免許取得の2件のみであった。 ○いじめアンケートを実施し、いじめの早期発見に取り組んだ。今後も生徒たちの変化を見逃さないように全職員で共通理解のもと取り組んでいく。	1	A	A
	定期的な服装頭髪検査実施や日常での積極的な指導を実施する。各種講演会の実施による、生徒の安全で安心な生活のための指導を行う。	A			A	A
	交通安全の推進	A	○バイク実技講習会を4/23, 10/5の2回実施した。生徒の生命を守るために、次年度以降も継続して実施していく。 ○街頭指導は生徒登校の事情に合わせて変更した。マナーアップは4～11月の月2回(1日と15日)に行った。次年度も継続して実施していく。 ○自転車通学の許可条件に、自転車保険に加えて、ヘルメットの着用を追加した。	2	A	A
	交通安全講話・バイク実技講習会の実施・自転車点検を実施する。	A			A	A
	生徒会諸活動の活性化	A	○生徒会執行部が中心となり、「あいさつ運動」と「ゴミ拾い」を行った。今後も継続していく。 ○石楠花祭の一般公開は2年続けて実施できなかったが、生徒会や委員会が新企画を取り入れ、大変有意義な行事とすることができた。	3	A	A
	部活動への積極的取り組みやボランティア活動参加への声掛けを行う。	A			A	A
盗難防止と不審者対策	A	○昇降口でのあいさつ活動を継続して行った。 ○学校行事の際に、不審者対応として校内外の巡回指導を計画的に行った。	4	A	A	
校内外の巡回や昇降口でのあいさつ、服装指導を行う。	A			A	A	
生徒の健康管理および保健・衛生の推進	A	○清掃分担以外で手が届く場所は、職員間で考查期間中等を利用して清掃する。 ○健康観察にグループフォームを利用することで、生徒の健康状態の把握がしやすくなった。	5	A	A	
毎日の健康観察や保健だよりの発行による保健指導を行う。	A			A	A	
進路指導部	1年生・自己理解を深め、学習習慣を確立するとともに、進路意識の高揚を図る。	A	○1年間の最低限行う進路行事(ガイダンス等)を年度初めに示せなかった。来年度は4月に生徒に示し、+αは学年に任せる対応を行う。	1	A	A
	1年生・進路ガイダンス、拡大社会人講話等を複数回行い、進路意識の高揚を図る。	A			A	A
	2年生・自己開発に努め、進路の理解を深め、進路設計と進路計画の検討と実践に努める。	A	○インターンシップの中止をすぐ決定できた。その際の諸連絡や延期の対応がすぐにできた。来年度もコロナの影響があると考え、柔軟に対応したい。 ○公務員希望の生徒は公務員講座(講習・模試)を定期的に受けている。公務員担当教員を付けられないため、現状のやり方を継続したい。積極的な呼びかけやオンラインでの対策を勧めたい。	2	A	A
	2年生・インターンシップ、ガイダンス、企業見学会、拡大社会人講話等を通して進路計画の検討と実践に努める。	A			A	A
	3年生・自己の将来設計の中で進路希望の実現を図る。	B	○模擬面接の評価を先生方に書いてもらい、ある程度生徒の状況を把握することができた。今後も継続徹底したい。 ○三進会の開催回数の不足により進路関係の書類作成等に関して3学年団に周知できないことがあった。7～9月の三進会を定期的に行うよう設定し、情報の共有を図りたい。	3	A	A
	3年生・面接練習や面談を通して進路希望の実現を図る。	B			A	B

◇ 自己評価(達成状況)は、次の基準による。

A:達成している B:おおよそ達成している C:あまり達成していない D:達成していない

☆ 学校関係者評価は、次の基準による。

A:適切である B:おおよそ適切である C:あまり適切でない D:適切でない

	努力目標		評価すべき点/改善の方策等	☆学校関係者評価			
	具体的な取り組み			自己評価の適切さ	改善策の適切さ		
1 年生	1	自律した規律ある生活習慣の確立 高校生として自覚を持ち行動する。欠席、遅刻せずに登校し、定時着席して授業に参加できるよう、自ら体験や生活リズムに気をつけ行動する。また、一高生としてふさわしい頭髪・服装で生活し、自ら挨拶をするなど、礼儀を身に付ける。モラルやマナーのある行動をする。	A A	○ほとんどの生徒が遅刻や欠席をせずに登校し、規律ある生活を送っている。 ○服装、頭髪については概ね問題なし。指導対象となった生徒も素直に従っている。 ○挨拶や礼儀などもほぼ良好である。	1	A	A
	2	学習習慣の確立と基礎学力の向上 年間を通じて朝学習に取り組み、各種検定合格を目指して意欲的に学習する。また読書を通じた情報収集の習慣を身に付ける。国数英の学び直しであるマナトレや授業の課題に意欲的に取り組み、期日を守って提出する。	B B			A A A A B	A A A A
	3	学校生活の充実 積極的に部活動へ参加し技術の向上に努める。HR活動や学校行事、委員会や係の活動に責任を持って取り組む。その際、お互いを尊重し、思いやりのある言動をする。校外の奉仕活動などにも参加し、様々な人間関係を通してコミュニケーション能力を養う。	A A			A A A A A	A A A A A
	4	進路意識の確立 すべての学校生活を通して自分の将来について適切に考える勤労観・職業観を身に付ける。進路行事や教員との面談を通して進路活動の方法を学び、活動意欲を高めて、常に情報収集する習慣を身に付ける。	B B			A A A A B	A A A A A
2 年生	1	誠実で規律ある生活習慣の確立 下級生の模範となる行動をする。欠席・遅刻をせず登校し、定時着席を徹底するなど、自立した生活習慣を確立する。また、一高生にふさわしい清潔感ある頭髪・服装で生活し、自ら挨拶し、必要な敬語を身に付け、モラルやマナーを気付けた規律ある生活を送る。	B B	○遅刻や欠席が目立つ生徒は限られてきた。概ね下級生の模範となる行動はできている。 ○頭髪服装に関して声掛けし、意識を持たせてきた。また検査へ向けて準備させることで、再検査の人数を減らすことができた。指導に関しては今後も丁寧な指導をしていく。 ●挨拶しても反応が弱い生徒がいるので、自らできるよう今後も挨拶の奨励を行っていく。	1	A	A
	2	計画的学習による基礎学力の向上 朝学習や授業に積極的に参加し、各種検定合格を目指して意欲的に学習する。予定を把握し計画的な学習習慣を確立する。提出物は期日を守って提出する。学習に主体的に取り組む姿勢を育成し、基礎学力を高める。	B B			A A A A B	A A A A A
	3	責任ある学校生活の充実 下級生の模範となるよう部活動に一生懸命に取り組む、HR活動や委員会活動、学校行事等に責任を持って取り組む。お互いを尊重し、思いやりのある言動を心がける。ボランティア活動にも積極的に参加し、充実した学校生活を送る。	B B			A A A A B	A A A A A
	4	進路意識の拡充 進路に関する情報収集を継続的に行い、幅広い視野から適切に進路選択ができるようにする。また、読書を通じた情報収集の習慣を確立する。インターンシップを通して自身の職業観・勤労観を磨く。教員や保護者との面談などを通して進路についての方向性を定め、目標を明確にする。	B B			○7月、12月に進路ガイダンスを実施し、進路の意識づけを行った。 ○地学地就コーディネーターをお願いして進路講話を実施した。 ○10月から公務員試験対策を実施している。	A A A A B

◇ 自己評価(達成状況)は、次の基準による。

A:達成している B:おおよそ達成している C:あまり達成していない D:達成していない

☆ 学校関係者評価は、次の基準による。

A:適切である B:おおよそ適切である C:あまり適切でない D:適切でない

努力目標		◇ 自己 評価	評価すべき点/改善の方策等	☆学校関係者評価		
				自己評価 の適切さ	改善策 の適切さ	
三年生	規律ある生活習慣の継続 1 欠席・遅刻・早退をしない。定時着席を徹底するなど、規律を守ることを意識して生活する。また、一商生にふさわしい清潔感ある服装・頭髪で生活し、挨拶・敬語などの礼儀を身に付ける。	A A	○大部分の生徒は規律ある生活を送ることができている。 ○一商生としてふさわしい頭髪、服装で生活している。 ○朝学習を活用し、一般常識と適性検査(SPI)問題集に取り組んだ。 ○各種検定合格に向けて意欲的に学習している。 ○コロナ禍ではあるが、各種大会や学校行事が実施され、生徒たちは意欲的に参加した。	1	A A A A	A A A A
	学力の向上 2 朝学習や授業、家庭学習に主体的に取り組み、一般常識なども含めて学力を高める。また、商業高校生として商業科目の授業理解を深め、各種検定合格に向けて意欲的に学習する。	A A		2	A A A A	A A A A
	学校生活の充実 3 最上級生であることを自覚した行動をとり、後輩の良き見本となるよう、HR活動や委員会活動、学校行事、部活動等に積極的に参加し、充実した学校生活を送る。	A A		3	A A A A	A A A A
	進路実現 4 進路に対する幅広い視野を持ち、発信されている学校・企業に関する情報を積極的に得る。また、面談などを通して希望進路について目標を明確にし、進路実現のために努力する。	B B		4	A A A A A	A A A A A
学校関係者評価委員の意見・要望等		◆デュアルシステム発表会の様子を見ていると、生徒の皆さんは全員礼儀正しくはきはきして、招待者案内も含めて明るい表情で行動していました。発表の様子からは、準備に力を入れて取り組んでから現場体験をし、物事を吸収して誇りを持って発表していることが切々と伝わってきました。 ◆生徒の皆さんの一生懸命にやる努力もさることながら、先生方のたゆまぬご指導に感謝します。これからも生徒さん方の目標達成のために、邁進していただくことをお願いします。 ◆年々、生徒数が減少し部活動も厳しくなっていると思われるが、何とか部活を特化し他校に対抗できるようなできないものか。 ◆遠距離通学者も通えるような工夫を検討できないものか。例えば、バス利用の利便性を図るなど。 ◆コロナ禍の中、各先生方には生徒の充実した「学校生活」を送れるように努力されましたこと、大変ご苦労様でした。来年度もより良い生徒指導ができますことを期待しております。 ◆評価表を読ませていただき教育現場がいかに多くの課題に取り組み、そして成果をあげているのかを理解することができました。 ◆コロナ禍でも教育目標の達成のため色々進め方を考え、柔軟に対応されたことは大変評価できることと思います。特に教務部で取り組まれた仕事の情報推進化、効果的な働き方の推進は大きな効果を生んでいるようで大変参考になりました。しっかりと効果把握と分析が次年度の取り組みにつながると思います。				

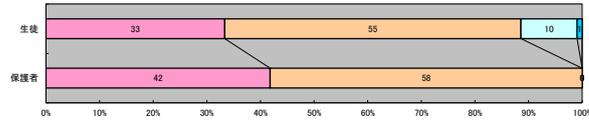
令和3年度 学校評価アンケートのまとめ

一迫商業高等学校

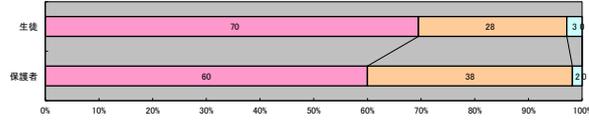
※凡例 全く当てはまる だいたい当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない

I 宮城県公立高等学校共通項目

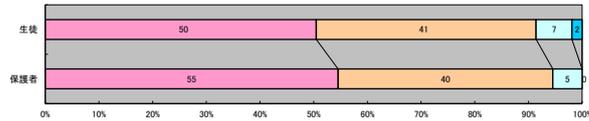
1 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている（学習指導）



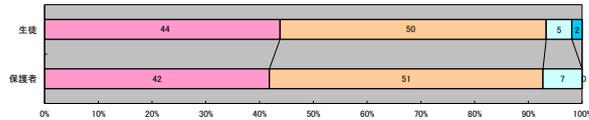
2 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒指導）



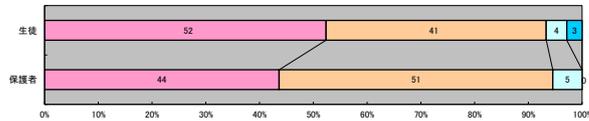
3 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている（進路指導）



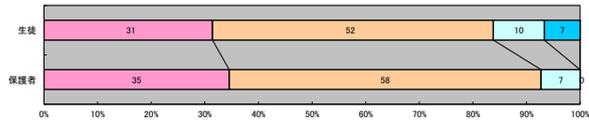
4 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている（教育相談）



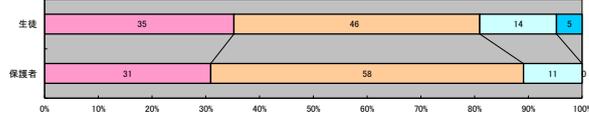
5 部活動は積極的に行われている（部活動）



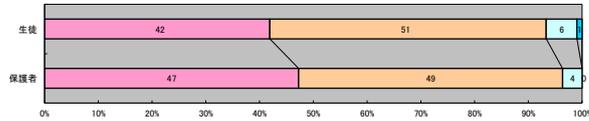
6 生徒会活動は積極的に行われている（生徒会活動）



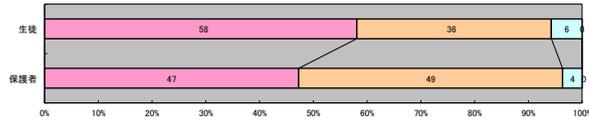
7 有意義な学校行事がある（学校行事）



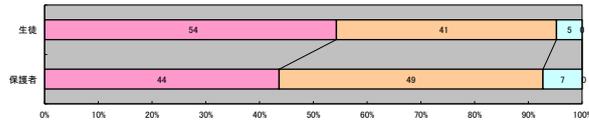
8 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる（特色ある学校づくり）



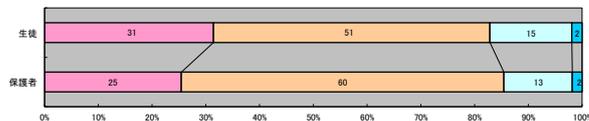
9 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている（防災教育）



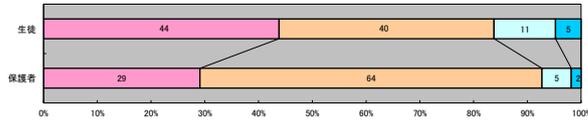
10 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている（開かれた学校づくり）



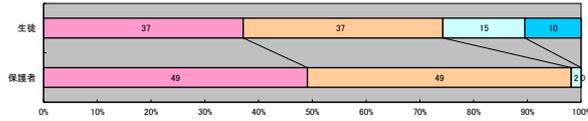
11 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている（施設設備）



12 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる（いじめ問題・生徒）
 学校として、いじめの問題に対して連携する体制がとれている（いじめ問題・保護者・職員）



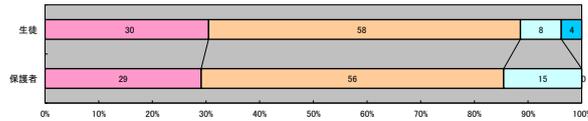
13 学校生活は充実している（総合満足度）



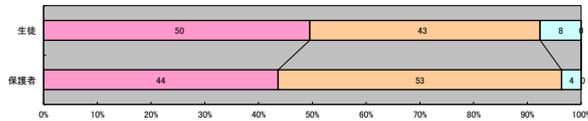
（生徒・保護者データの分析）
 （生徒）
 肯定的評価が、90%以上→7項目、80～89%→5項目、70～79%→1項目でした。最も良い評価を得たのは「挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている」で、97.1%でした。昨年度も高評価であり、生活指導が生徒一人一人に浸透している結果と思われます。「学校生活は充実している（総合満足度）」が74.3%と13項目中で最も低くなりました。その要因として新型コロナウイルス感染症による学校行事の中止や実施内容の変更があげられます。
 （保護者）
 肯定的評価が、90%以上→11項目、80～89%→2項目でした。「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている（学習指導）」が100%と高評価でした。少人数で個々の生徒に手厚く指導できる環境であることが、この結果につながったと考えられます。

II 教育方針と学校経営

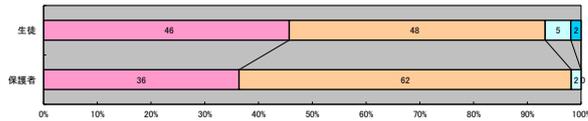
1 本校の教育方針や指導目標は知っている



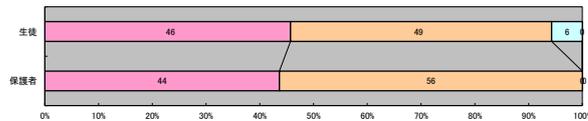
2 本校は、協調と奉仕の精神をもって誠実に責任を果たす生徒を育てようとしている



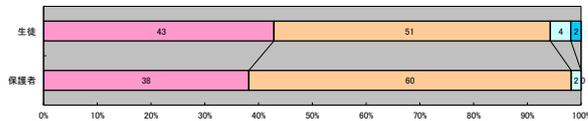
3 本校は、自主的で逞しい実践力のある生徒を育てようとしている



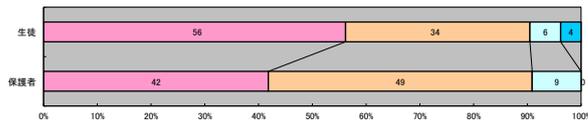
4 本校は、技能を習得し、勤労を重んじ、進んで創意工夫に努める生徒を育てようとしている



5 本校は、豊かな情操と高い道徳心のある生徒を育てようとしている



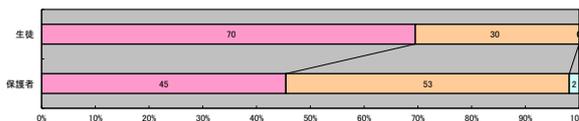
6 職員が協力して教育活動にあたっている



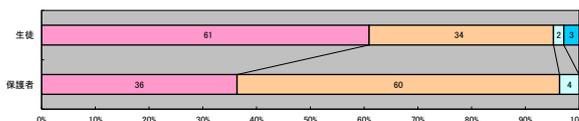
（生徒・保護者データの分析）
 生徒・保護者とも、肯定的評価が全6項目で85%以上の高評価でした。本校の教育活動にご理解いただいている結果だと感じています。今後、学習指導要領の改訂に合わせて取り組みを見直し、生徒にとってより良いものに改善していきます。

Ⅲ 基礎学力の充実向上

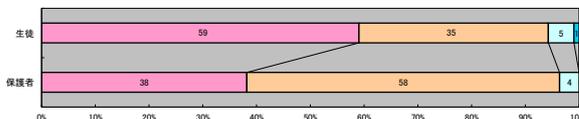
1 本校の授業日数や時間は充分である



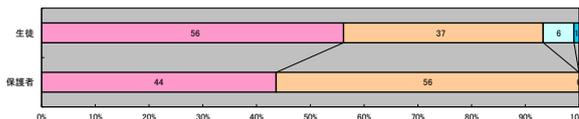
2 本校の授業後や週末の宿題の内容や量は適切である



3 本校では、基礎学力の向上に向けた対策を充分に実施している



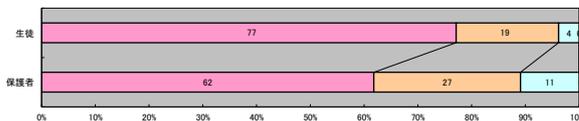
4 本校の学習環境は整っている



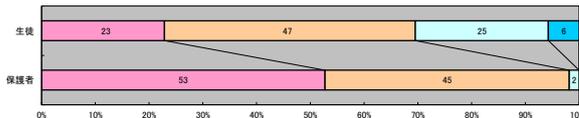
(生徒・保護者データの分析)
 生徒・保護者とも、肯定的評価が全4項目で90%を超えており、本校の教育活動にご理解いただいている結果だと感じています。特に宿題に関する項目は、昨年度コロナ禍中に5月末まで続いた臨時休校での課題への負担感と本年度の通常授業での宿題とを比較した結果と考えられます。今後、臨時休校となった際は本年度試行しているオンライン授業を本格実施することで、課題が調整できるため肯定的評価を維持できるものと考えます。

Ⅳ 規律ある生活習慣の確立

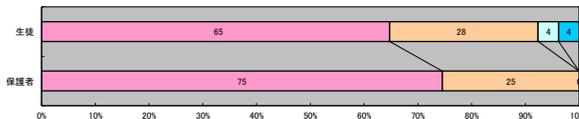
1 本校の生徒は、あいさつを励行している



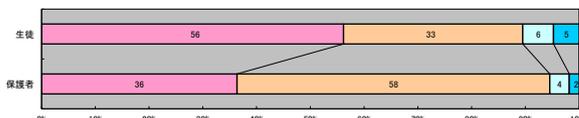
2 本校の生徒は、欠席・遅刻・早退が少ない



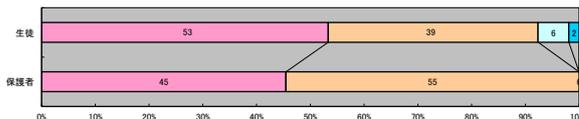
3 本校では、生徒の生活（頭髪や服装を含む）指導を適切に行っている



4 本校では、いじめや差別に対して適切に対応している



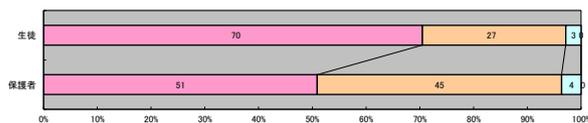
5 本校は、清掃など美化につとめている



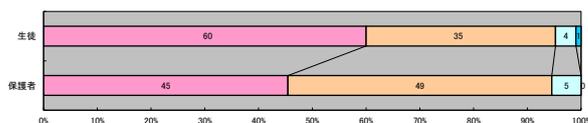
(生徒・保護者データの分析)
 肯定的評価が生徒・保護者とも4項目で85%以上と高評価でした。本校の取り組みにご理解いただいている結果だと分析しています。しかし、欠席・遅刻・早退の項目で、保護者の肯定的評価が昨年よりも10%上昇し98.2%となっているのに対して、生徒は69.5%と低い数値となりました。生徒は欠席・遅刻・早退がもっと少なくなって欲しいと感じています。

V 自主的な進路設計とその実現

1 本校では、生徒に適切な進路情報を提供している



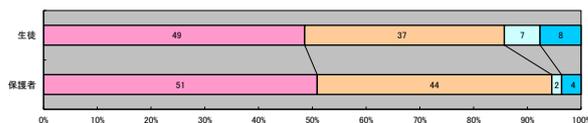
2 本校では、生徒が希望する進路を達成をしている



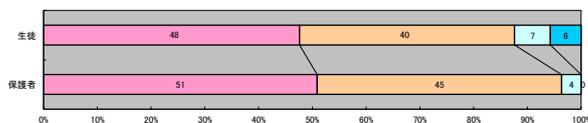
(生徒・保護者データの分析)
 生徒・保護者とも肯定的評価が両項目で95%以上となりました。生徒全員に進路情報を提供し、生徒を通じて各種案内が保護者へ届けられるよう声掛け等を行っている成果と捉えています。また、生徒の現在の進路希望を把握し、対策等が特に必要だと思われる生徒に対しては情報提供とは別に呼び掛けを行っていることも一因となっています。今後も必要な情報提供やガイダンス、講話を充実させていきます。

VI その他

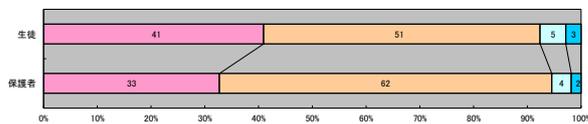
1 本校の職員は、礼儀正しく親切に対応してくれている



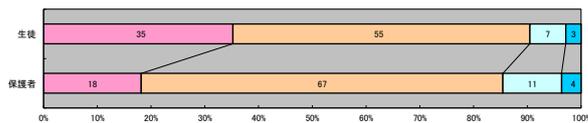
2 本校が実施している企業実習・起業家研究・販売実習(栗原版デュアルシステム)のとりくみを知っている



3 本校は、各種のボランティア活動を積極的に行っている



4 本校のホームページは、内容が充実している



(生徒・保護者データの分析)
 生徒・保護者とも肯定的評価が全4項目で85%以上となっています。特に、保護者の栗原版デュアルシステムについてが昨年度よりも39%上昇し、96.4%となりました。具体的な取り組みをホームページへ掲載などして周知を充実させた成果だと分析しています。今後も継続して各項目に取り組みたいと思います。